ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN
WEEKLY BULLETIN

創　立　1969. 5. 30　　会　長　村上泰啓
幹　事　小原一眞　　会報委員長　泉　浩一

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ
NO. 2476
2021-2-12

事務所　〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898　FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp

例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く
2020-2021年度国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

本日の例会　2月12日(第2例会)

●例会場
リモート(Zoom)実験例会
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間

●卓話「ハラスメントのない職場環境の構築」
元氏成保会員

次週のお知らせ　2月19日(第3例会)

●例会場
リモート(Zoom)
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間

●卓話「コロナワクチンについて」
浅井　晃プログラム委員長
(プログラム委員会担当)

●年次総会　例会終了後～

次々週のお知らせ　2月26日(第4例会)

●例会場
リモート(Zoom)
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間

●卓話「税務調査あれこれ」
梅崎道夫会員

例会の記録

12月4日・11日・18日、1月、2月5日の例会は臨時休会
(大阪府が新型コロナウイルスの感染についての非常事態宣言により府民の不要な不急の外出自粛を求めた為)

●出席報告　11月27日(第4例会)

出席会員 36 名 (内免除会員 9 名)
会員総数 46 名 (同上 13 名)
ゲスト　0 名
ビジター　0 名
計　36 名
ホームクラブ出席率85.71%
11月20日(第3例会)補正出席率100%(MU5名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)
タイ・ジャユ・アンナ (元米山奨学生)

◆会長の時間◆

当社はネットの製造販売をしておりますが、この前から大量のネットの引き合いが急にきて驚いております。総数は20万㎡で、用途は野生イノシシの豚舎への侵入防止です。新型コロナで人間の世界は大変ですが、豚の世界も大変なようです。農水省豚コレラ防疫対策本部がいろいろな対策を進めております。

1.野生イノシシ対策:捕獲(わなの設置や猟友会に協力依頼)、経口ワクチンのベルト状に散布、野生イノシシを家畜伝染病予防法へ位置付けることを検討。
2.感染経路遮断対策:農家への講習会の開催による指導、早期出荷促進、野生動物侵入防止柵の早期設置。
3.感受性動物対策:備蓄ワクチン、マーカーワクチンを進める等の対策を掲げております。防護柵設置は農水省から補助金が出ます。豚コレラが流行るとネット業界が潤うというお話です。

◆委員会報告◆

前年度幹事　浅井　晃会員
年次報告書をポストしました。これで幹事の仕事が終了しました。コロナで休会等色々ありましたが、皆様のお陰で何とか終了致しました。

前年度会長　中谷佳正会員
前年度は1年間有難うございました。心より御礼申し上げます。

R財団・米山奨学　中谷佳正委員長
10月の米山月間はご協力有難うございました。まだの方はよろしくお願い致します。岡倉会員からR財団寄付を頂いております。

米山カウンセラー　西谷雅之会員
元米山奨学生のアンナさんが、10年がかりでやっと医学博士になりました。クラブから御祝いを頂けるようです、皆様有難うございました。

卓話　11月27日 <第4例会>

「ロータリーとは」

パスト会長　光信昌明会員

ここ数年、ロータリーの規約が大幅に変わって、ロータリーはどうなっていくのか心配でなりません。しかしロータリーには、各クラブにクラブ細則があり改正することができます。裏返せば現在のままで細則を触らないことも可能なわけです。

平和と紛争予防 / 紛争解決月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか	みんなに公平か	好意と友情を深めるか	みんなのためになるかどうか

概して日本のロータリアンは現存規約の理解と順守の点では一応優等生と言えるかもしれませんが、規約の改正への参加となると必ずしもそうではないでしょう。

このことはロータリーに対する関心度の低いことを示すと同時にロータリーの将来の発展についても熱意を欠く姿勢であると言われても仕方がありません。規約の改正にも、もっと積極的に参加することは、日本のロータリアンに課せられた大きな責任であり、義務でもあります。

我が国には、クラブと名の付くものが無数にありますが、ロータリークラブはこれらのクラブと根本的に異なる点があります。それはヴォケーショナルサービスを目的としたクラブであるという点です。

ロータリーの目的は「有益な企業の根底にサービスの理想を育むことにある」と明記されています。この理念に二つのモットーとして、「service above self」と「he profits most who serves best」が推奨されています。また実践的な倫理原則として、「利己的な欲求と利他の心の葛藤を和らげる人生哲学である」と明記されています。

ロータリー活動の指針として次の四つのテストが採用されています。

1. 事実かどうか
2. すべての取引先に対して公正か
3. 信用を高め取引先を増やすか
4. すべての取引先に利益をもたらすかどうか

またロータリークラブには五つの基本原則があります。

1. 一業種一会員制
2. 週1回の例会への出席
3. 毎年度交代制
4. 機能分担としての役目
5. 会費問題

この基本原則に導かれて、ロータリークラブにおける会員相互の交流が行われ、それにより実現する切磋琢磨と自己改善のエネルギーの横溢をロータリーが望む。

そうしたロータリー特有の親睦による自己改善の成果は、おのずと自己の職業に対する姿勢を変化させるに違いありません。そして基本原則を活かしたクラブの親睦が、職業奉仕をロータリーの金看板たらしめる強い力となっているに違いないと思うのです。

RIは勿論のこと日本の多くのロータリークラブにおいて、ロータリーの親睦が日常忘れ去られているように思えてなりません。そうした意味から、皆でクラブ例会の在り方やクラブの親睦活動の在り方、クラブの奉仕活動の取り組みを改めて見直してみてはいかがでしょうか。

それは取りも直さず職業が奉仕であることを強く自覚するばかりでなく、人生そのものの付加価値、ふくらみと温かさを、つまるところロータリーの本領を知る契機へと繋がっていくことになると思います。

◀元米山奨学生
アンナさん

元米山奨学生のタイ・ジャユ・アンナと申します。

このたび、大阪城南ロータリークラブの皆様、特に最初からのカウンセラーの西谷さんのお陰様で、今年3月に、阪大の医学博士学位を取ることができました。米山奨学生の時から、皆さまからいろいろ大変お世話になっております。今は阪大医学系研究科の先進デバイス分子治療学共同研究講座で特任助教を務めています。

大阪城南ロータリークラブの皆さまにして頂いた様に、これから私が精一杯留学生の支援、学生の指導に頑張ります。

そして、いままで勉強した知識で、最先端の医学研究を挑戦し、日本の医学研究に微力でも貢献したいです。現在、日本のコロナワクチン開発チームに参加しており、一日も早いワクチン開発に努めております。

このように、みなさまの恩、日本国民の恩をわすれずに、頑張って社会貢献したいと思います。長年皆様からいつも温かい眼差しで見守り励まして頂き、心より深く感謝しています。ありがとうございました。

令和2年11月27日
タイ・ジャユ・アンナ

卓話　12月18日（卓話予定の原稿を掲載）

「安らかな旅立ち」

内藤喬皓会員

1992年ロータリー入会、あっという間の28年が経ち、いよいよ人生の最期がいつ来てもおかしく無い年齢となってしまいました。医師になって約50年、少なくとも1500人以上の方を看取らせて頂きました。しかし乍ら、悔い無く満足して人生を終えたという人は、それ程多くはいらっしゃいませんでした。

最近は「安楽死（Euthanasia）」という言葉が話題になっています。人、または動物に苦痛を与えず、死に至らせる事で、一般的に終末期医療に対する医療上の処遇を意味する言葉です。エンディングノートには、延命措置を望まないであの世に行きたいと書き込む人が多いようです。50年も臨床医をしていると苦しみと痛みを上手に取りのぞき、法的に問題なく最期を迎えさせてあげることも必要なのでは、と考えさせられることも経験してきました。「安楽死」の問題は長年にわたり議論されていますが、私の医療を学んだ時代では長く生かせる医療は学びましたが、楽に死を迎える事が出来る医療を学ぶ事はありませんでした。

個人的には死への考案は生を考えることであり、「よき死を迎えるにはよく生きること」と、考えています。日々を一生懸命生き、心の充実を求め、愛する家族に看取られて、

会員増強にご協力を!!

惜しまれながら最期を迎える事が出来れば良いと考えています。

まさに、「未練はあるけど悔いは無い」という心境で旅立ちたく願っています。

卓話　2月5日（卓話予定の原稿を掲載）

「国際奉仕について」

2020-21年度地区国際奉仕委員長　木下基司氏
（松田振興国際奉仕委員長担当）

皆さんこんにちは。今年度地区国際奉仕委員会 委員長の木下基司でございます。今回、一連の新型コロナウイルス感染予防の観点から例会が休会とのことでお伺い出来ない事を大変残念に思っております。

今回は貴クラブに於いて国際奉仕に携わられる会員様へ分かり易く、「国際奉仕について」のお話しをしたいと思います。

国際奉仕についてしっかりご理解頂くことで、我々ロータリアンが行うべき奉仕の理想の実践を明確にして頂き、今後の活動にお役立てください。

ロータリーでの国際奉仕とは、世界理解と平和推進のことを言います。以下の4つが挙げられますので、各々についてお話しさせて頂きます。

1.人道的国際奉仕活動とは？

人道的奉仕活動

職業研修チーム（VTT）

奨学金（グローバル奨学生）が含まれます。

そして、これらの活動はTRF（The Rotary Foundationロータリー財団）の補助金プログラム、地区補助金DGとグローバル補助金GGに支えられています。

そして、昨年から2種類の補助金が追加され（災害救援補助金と大規模プログラム補助金）4種類の補助金が現在準備されております。

※コロナ禍での国際奉仕活動の副産物

今まで一部のメンバーしか味わえなかった国際奉仕活動の醍醐味を、リモート（WEB）で贈呈式等を行うことにより、過去には参加できなかった会員も、一緒に体験頂くことが出来ております。

2.国際レベルの教育と文化活動

国際レベルの教育

以前は青少年交換プログラムが含まれていましたが、最近では青少年奉仕部門のプログラムとされています。

文化活動

ロータリー親睦活動グループやロータリー友情交換プログラムが含まれます。

3.特別月間

ここでロータリーの6重点分野を思い出してください。

昨年2019年7月に若干の名称変更されております。

平和構築と紛争予防（変更）

地域社会の経済発展（変更）

また、本年から「環境保全」が加わり、7重点分野となります。

ロータリー財産の使命は「世界で良いことしよう!」です。

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解・親善・平和を達成出来るようにすること

すなわち貧困を救済が7重点分野となります。

4.国際的会合

ロータリアンは…

国際大会をはじめとするロータリーの国際的な会合に積極的に参加し、国際レベルでの友情や親睦を深める事が推奨されています。

残念ながら6月12～16日に台湾・台北で開催予定でした2020-21年ロータリー国際大会はバーチャル開催に変更となり、6月13日（日）ザ・グランドホテル圓山大飯店12階グランドボールルームで開催予定でした大阪ナイトは中止になりました。

今年度も大変残念です。

今後のロータリー国際大会の予定ですが、
2022年ヒューストン（アメリカ合衆国テキサス州）
2023年メルボルン（オーストラリア）
となっております。以上です。

アフターコロナでも、地区国際奉仕委員会は少しでも皆様のお役に立つよう努力して参ります。貴クラブの益々の発展とご活躍を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

にこにこ箱

11月27日（第4例会）

- 新金岡のパデルがオープンし、その模様が毎日放送「ちちんプイプイ」で放送されました。おかげでかなりの入会希望者が来て頂きました。最高年齢は84歳のレディでした。

村上（泰）会員

- アンナの博士号取得を祝して。

西谷会員

- 12月4日の夜間例会は検査入院の為、欠席します。残念です。

奥田会員

- ピアノリクエスト「二人でお茶を」

梅崎会員

11月ニコニコ合計　152,000円
上期ニコニコ合計　1,192,540円

（編集担当　泉）

会員増強にご協力を!!

◆ 大阪城南ロータリークラブ クラブビジョン・中期5カ年目標 ◆

第1.クラブビジョン

◆大阪城南ロータリークラブは、社会のリーダーとしての見識と品格及び寛容の精神を持つ人々がロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし世界及び地域社会で良い変化を生み出します。

◆世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

◆会員各自が「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになることを目指します。

第2.中期５カ年目標

1.クラブ運営

(1)例会をより楽しく、充実した内容にするとともに出会いと友情・親睦の基盤を強化し自己研鑽の場とします。

(2)全会員が何らかの奉仕活動にかかわることを目指します。

(3)研修を重視し、ロータリーの理念の周知を図ります。

(4)毎年少なくとも純増1名、且つバランスの取れた会員増強を目指します。

(5)財務の健全性と永続性を図ります。

2.奉仕活動

(1)ニーズを把握し成果の持続可能な奉仕を強化します。

(2)ロータリー財団及び米山奨学会への寄付活動に努めます。

3.公共イメージと認知度の向上

(1)個々のロータリアンが公共イメージ向上の担い手であることを自覚し、行動します。

(2)地域社会に開かれたロータリー活動を実施し、公共イメージ向上を推進します。

(2020年12月4日 理事会承認)

会員増強にご協力を!!